

# 函館北ロータリークラブ会報

2012~13年度 国際ロータリー テーマ

## 奉仕を通じて平和を

2012~13年度 国際ロータリー会長 田中作次

鶴喰理三 会長テーマ — 地域に貢献する奉仕を —

★会長 鶴喰理三 ★幹事 増山 正



- ・例会場: 函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
- ・例会日: 毎週水曜日 12:30~13:30 事務局: 函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870
- ・ホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

## 《第2360回例会》第18号 11月14日(水)

### 本日のプログラム

「函館北ロータリークラブ50周年記念式典 エキスカーション  
函館定番観光の提案」 株ケーエス北の星観光バス 業務課長 小野 啓一氏



11月7日 卓話  
元函館北高等学校教諭  
高瀬 則彦氏

## 2012~2013 <第2359回例会> 第17号 11月7日の記録

- ◎司 会 藤田 正男 副会長
- ◎斉 唱 君が代、奉仕の理想、四つのテスト
- ◎ゲ ス ト 元函館北高等学校教諭 高瀬 則彦氏
- ◎ビジター 函館東R.C. 矢島 千穂君
- ★誕生祝 小笠原会員 (14日)
- ★結婚祝 深瀬会員 (1日)、弗田会員 (3日)  
柴崎会員 (9日)、泉 会員 (23日)

◎会長報告 藤田 正男 副会長  
○2012~2013年度の年次総会を12月5日(水)の例会時に  
行います。  
当クラブ細則第3条第1節により2013~2014年度の  
役員及び理事の選考委員会を設置いたします。5  
名の選考委員を指名いたします。  
松見修二会員・増田定雄会員・中川洲平会員・小  
笠原孝会員・増山正会員です。  
5名の選考委員は12月5日の年次総会日に開催す  
る選考委員会において役員・理事の候補者の選考を  
お願い致します。  
なお、選考委員長は松見修二会員、副委員長は増  
田定雄会員とします。  
年次総会において、委員会で選出された役員及び

理事の候補者報告を委員長又は副委員長が行ってくだ  
さい。  
○今月11月も鶴喰会長が欠席となりますので、引き続  
き会長代行をお願い致します。  
(欠席の場合は次の方へお願いしてください)  
11月14日 松見会員、21日 中川会員、  
28日 西尾会員  
○10月31日に一乃松にて歴代会長会を開きました。

◎委員会報告  
○友好クラブ委員会 小河 博保 会員(チケット担当)  
3月29日和歌山城南RC25周年式典旅費(航空券、  
行きのみ)通常価格36,000円の半額18,200円でとれ  
ますので早めに連絡下さい。(旅割55)  
(函館10:05発→関空12:15着)

◎幹事報告 増山 正 幹事  
○江差RCより創立50周年記念誌、和歌山城南RCよ  
り会報が届きましたので回覧いたします。  
○11月12日(月)函館亀田RC移動例会、16日(金)函館五稜  
郭RC夜間例会、19日(月)函館亀田RC自主休会に変更。  
○例会終了後、理事会を開催いたします。

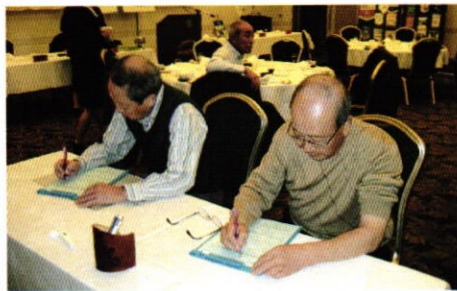
◎親睦活動委員会 成田 豊 副委員長

ニコニコBOX投入報告

泉 会員……結婚祝ありがとうございます。  
 深瀬会員……今日はインフルエンザの予防接種です。  
 健康管理に気をつけて。  
 成田会員・増田会員・山下(清)会員  
 ……深瀬先生インフルエンザお願いします。  
 弗田会員・森 会員・小笠原会員  
 ……高瀬先生を歓迎して。  
 中川会員……ボックスに協力。



深瀬会員の職業奉仕によりインフルエンザ予防接種が実施されました。(希望者)



◎卓話「会津藩校、日新館の教え」

元函館北高等学校教諭 高瀬 則彦 氏  
 今回の講師は、当クラブで3回目となる函館北高等学校の元教諭、高瀬則彦さんです。  
 タイトルは「会津藩校、日新館の教え～国家の品格（藤原正彦著）」  
 これより抜粋して、当時の厳格な社会秩序、上下関係、そして幼少時からの教育について話していただきました。

江戸時代、藩には支配階級の教育機関として藩校がありました。文武両道において切磋琢磨し、世界的にみても第一級の藩士を育てたといえます。藩祖保科正之の会津藩には日新館という藩校があって「什の掟」というのがありました。

- 一つ、年長者の言うことに背いてはなりません
  - 二つ、年長者にはお辞儀をしなければなりません
  - 三つ、嘘言を言うことはなりません
  - 四つ、卑怯な振る舞いをしてはなりません
  - 五つ、弱いものをいじめてはなりません
  - 六つ、戸外で物を食べてはなりません
  - 七つ、戸外で婦人と言葉を交えてはなりません
- これら七カ条の後に「ならぬことはならぬものなのです」という言葉で結ばれています。

要するにこれは「問答無用」「いけないことはいけない」と言っている。これがもっとも重要です。すべてを論理で説明しようとすることは出来ない。だからこそ「ならぬことはならぬものです」と、価値観を押しつけたのです。

本当に重要なことは、親や先生が幼いうちから押しつけないといけません。たいていの場合、説明など不要です。もちろん子供は、反発したり、後になって別の新しい価値観を見出すかも知れません。子供としては動きがとれないのです。

野に咲くスマイルが美しいということは論理では説明できない。モーツアルトが美しいということも論理では説明できない。しかし、それは現実に美しい、卑怯がいけない、ということすら論理では説明出来ません。

このように厳格な中でも、1つの哲学が脈打っているのです。現在の迷走している時代、それぞれが考えなくてはならないのではないのでしょうか？

(会報担当者：藤田 正男 委員)

医療法人社団 藤 紀 会

# 齊 藤 内 科 医 院

院 長 齊 藤 紀 一

函館市万代町1-13(グルメシティ万代店横)

TEL(0138) 45-1118(代)

(広告掲載：齊藤 紀一 会員)

◎10月17日出席報告 (泉 彰 委員長)

会 員	24名	出席率対象会員	23名
		出席規定免除会員(a)	1名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	17名	当日欠席	6名
他クラブ出席	4名	出席合計	21名
出席率		91.30%	

次回のプログラム

平成24年11月21日

特別講話「函館の街づくり」

函館市長 工藤 壽樹 氏

テレホンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番